

令和 8 年用乾燥秘伝(青大豆)病虫害防除基準

※乾燥秘伝（大豆）とえだまめでは、農薬は同じでも使用方法、時期が異なる場合がある。発行：J A さ が え 西 村 山
※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。さがえ西村山野菜振興協議会

病虫害重点防除	時 期	は 種 前		開 花 7 日 後		開 花 20 日 後		開 花 30 日 後	
	殺虫・殺菌剤	クルーザー FS30 クルーザー MAXX	のいずれかを 塗沫処理する。	トレボン粉剤D L トレボン乳剤	のいずれか	スミチオン乳剤 スタークル粉剤D L	のいずれか	スミトップM粉剤	

【病虫害防除】

作業	RAC コード	薬 剤 名	使 用 方 法				対 象 病 害 虫									注 意 事 項
			倍 率	散布量(10a)	使用時期 収穫前日数	使用回数	紫斑病	タネバエ	フタスジ メハムシ	アブラ ムシ類	カメム シ類	ハスモン ヨトウ	マメシン クイガ	ダイズサヤ タマバエ	ネキリ ムシ類	
播 種 前	4 A 12 4	クルーザーMAXX	乾燥種子 1 kg当たり原液 8 ml 塗沫処理		播種前	1 回	●	●	●	●					●	●登録：ハト、キジバト、茎疫病、黒根腐病 ※紫斑粒を取り除く等、無病種子を使用する。 ※クルーザーMAXX、クルーザーFS30の他に薬剤を処理する際は、先にこれら进行处理し、よく乾燥させてから使用する。 ※クルーザー剤の総使用回数は1回
	4 A	クルーザーFS30	乾燥種子 1 kg当たり原液 6 ml 塗沫処理		播種前	1 回		●	●	●					●	
	M 3	キヒゲンR-2フロアブル	乾燥種子 1 kg当たり原液20ml 塗沫処理		播種前	1 回	●	●								●登録：苗立枯病 ※チウラム剤処理済みの種子にはキヒゲンR-2フロアブルを使用しない。
	1 B	ダイアジノン粒剤5	6 kg／10a 作 付 前：全面土壌混和又は作条土壌混和する。 作物生育中：作条処理して軽く覆土する。		30日前	5 回 ※生育期の処理は4回以内		●							※●	●登録：コガネムシ類幼虫 ※ネキリムシ類防除の場合は、土壌表面散布
		ネマキック粒剤	20kg／10a 全面処理土壌混和		播種前	1 回										●登録：ダイズシストセンチュウ 1．連作を避ける。 2．同じ薬剤の連用をしない。
	1 A	バイデートL粒剤Ⓜ	30kg／10a 全面土壌混和		播種前	1 回										
は播 定種 植前又			6 kg／10a 作条土壌混和		播種前又は定植前	1 回										
播 種 時	1 B	カルホス微粒剤FⓂ	6 kg／10a 土壌表面散布土壌混和处理		播種時	2 回以内		●								※ネキリムシ類の産卵を抑えるため、播種前から除草対策の徹底を図る。 ※タネバエの使用時期は「播種時」のみの登録のため注意する。 ※えだまめでは使用回数が1回
は播 定種 植時又					播種時又は定植時										●	
生 育 期	1 B	オルトラン水和剤	1, 000倍	100～300 l	60日前	3 回以内				●		●	●			※えだまめでは使用時期が収穫21日前まで
		スミチオン乳剤	1, 000倍	100～300 l	21日前	4 回以内				●	●		●	●		●登録：ウコンノメイガ、シロイチモジマダラメイガ
		スミトップM粉剤	4 kg／10a 散布		開花期～若莢期 但し21日前	4 回以内	●				●		●	●		●登録：シロイチモジマダラメイガ ※えだまめには登録がない。
	3 A	トレボン乳剤	1, 000倍	100～300 l	14日前	2 回以内			●	●	●	●	●	●		●登録：ウコンノメイガ、シロイチモジマダラメイガ ※【合成ピレスロイド剤】（トレボン）の総使用回数は2回以内 ●登録：シロイチモジマダラメイガ
	3 A	トレボン粉剤D L	4 kg／10a 散布		14日前	2 回以内			●	●	●	●	●	●		
	M 1	Z ボルドー	500倍	100～300 l	—	—	●									●登録：斑点細菌病、葉焼病
	10 1	ゲッター水和剤	1, 000倍	100～300 l	14日前	3 回以内	●									
	4 A	スタークル粉剤D L	3 kg／10a 散布		7 日前	2 回以内			●		●			●		
	28	ヨーバルフロアブル	5, 000倍	100～300 l	7 日前	2 回以内						●	●			●登録：ウコンノメイガ、コガネムシ類
	28 15	ミネクトエクストラSC	10, 000倍	100～300 l	7 日前	2 回以内					●	●	●			

★農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。

成 分 名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考	成 分 名	RAC	農 薬 名	使用回数	同一成分 総使用回数	備 考
エトフェンプロックス	3A	トレボン乳剤	2 回以内	2 回以内		チオファネートメチル	1B,1	スミトップM粉剤	4 回以内	4 回以内	種子への処理 1 回以内
		トレボン粉剤D L	2 回以内				10,1	ゲッター水和剤	3 回以内		
MEP	1B	スミチオン乳剤	4 回以内	4 回以内		チアメトキサム	4A,12,4	クルーザー MAXX	1 回	3 回以内	は種子前の塗沫 処理は合計 1 回 以内
	1B,1	スミトップM粉剤	4 回以内				4A	クルーザー FS30	1 回		